



事例 9

家事動作・日常生活動作の確立を目指して退院前改修

本人家族の希望・要望

(日常生活における不便・不自由な点)

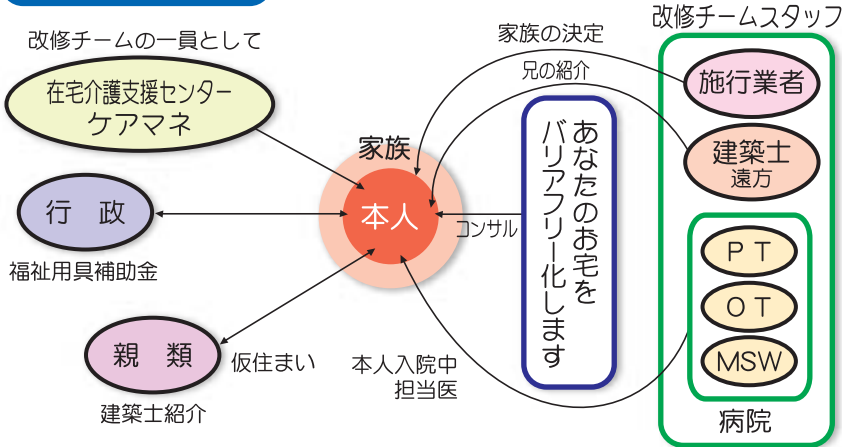
1. 退院後車いすで自立した生活をおくれるようにしたい。
2. 自宅での生活に慣れたら、一人で外に出たい。
3. 台所で食事の支度をしたい。



これまでの流れ

- 平成11年8月一過性に腰部のだるさを自覚、その後両下肢の脱力、感覚障害、歩行困難と数日間の内に症状が進行し、治療するも改善は見られず現在も入院中。
- 発症から1年が経ち、これまで車椅子を利用しての自宅復帰に向けた外泊を繰り返してきたが、今のままではトイレ、入浴、家事を行えるような環境ではなく、一日も早く家族と共に自宅で暮らしたいと願っている。
- 現在入院している病院のCWが相談役となり、退院に向けてのリハビリと帰宅後に必要となるであろう福祉機器についてのアドバイスをしている。
- 病気の症状も落ち着き外泊が可能になり、初めての外泊の時に電動介護用ベットが無く、市に申請して給付を受けたいと思ったが、車いすのみでベットの給付を受けることはできなかった。親戚を通じて使用済みのベットをもっている人から譲ってもらい現在も使用している。

住宅改修チーム



家族をまじえて
改修チームスタッフ打合せ

性別／年齢 世帯構成 主介護者 住 宅 病 名 障害の程度 病 歴	女性 39歳 本人、夫、長男の3人家族 夫 木造2階建 多発性硬化症 1級：両下肢の機能全廃 平成11年8月 ・一過性の腰のだるさ、翌日両下肢脱力、進行、感覚障害、歩行困難となり、病院を受診。 ・多発性硬化症の診断にて治療するが、改善なく現在の病院にて加療中。	自立の状況 (共通の項目)	<ul style="list-style-type: none"> ●寝返り・起き上がり ・何かにつかまり自立 ●衣服の着脱 <ul style="list-style-type: none"> ・上着は自立、ズボン等は介助（リハビリ中） ●洗面・歯磨き ・自立 ●トイレ <ul style="list-style-type: none"> ・便器と手すりの位置により移乗できれば自立 ●入浴 ・一部介助 ●歩行 ・不可 ●移動 屋内 ・車いすで自立 屋外 ・車いすで自立 ●移乗 ・リハビリ中ではあるが、車いすからの移乗はほぼ自立 ●調理・食事 ・自立 ●家事 ・リハビリ中ではあるが、本人にあった作業台や用具により自立
介 護 度 身体及び介 護の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・対象外 ・両下肢完全麻痺、全感覚脱失 ・膀胱直腸障害 		

現地調査



WC



浴室 (ユニットバス)



洗面所
洗面台下の扉があるため正面からは使用できない



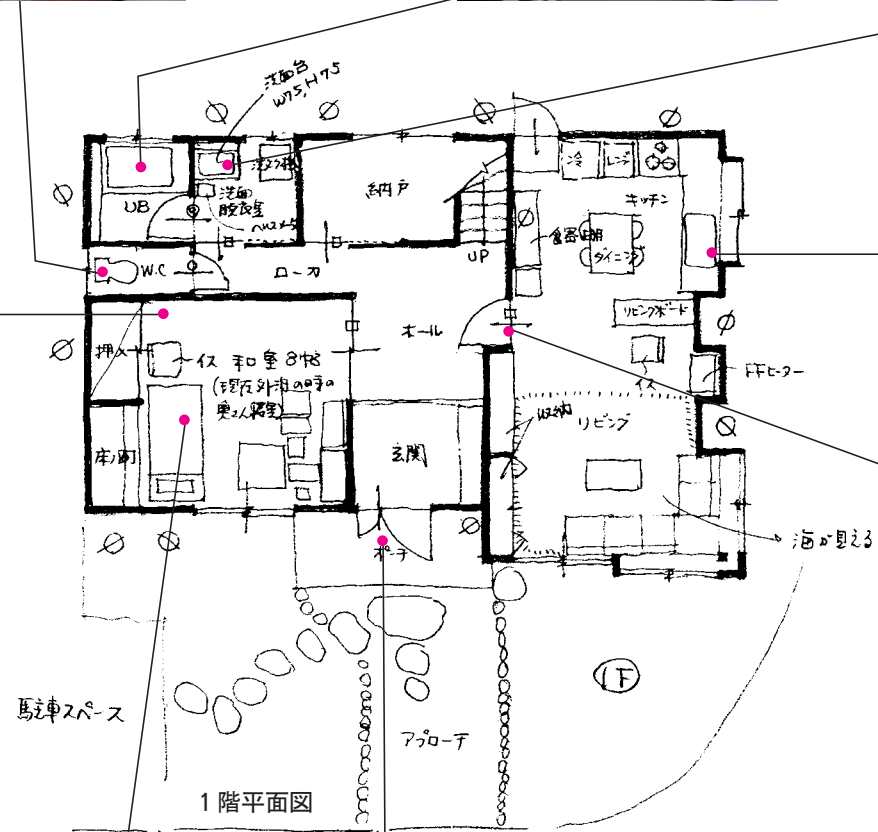
キッチン



台所、キッチンセット
改修チームスタッフ調査風景



ホール～寝室
敷居の段差と床のタタミ敷きが問題



出入口扉
敷居段差



本人も参加し専用車イスの高さ
チェック



寝室
ベットは親戚を通じて紹介された電動ベット



玄関～アプローチ
ポーチの段差と飛石が問題

既存家屋の概要	
建築年	平成2年
階・建	木造2階建
工事範囲面積	寝室、浴室、洗面・脱衣室、WC、寝室、玄関 40.6㎡
所有形態	自己所有

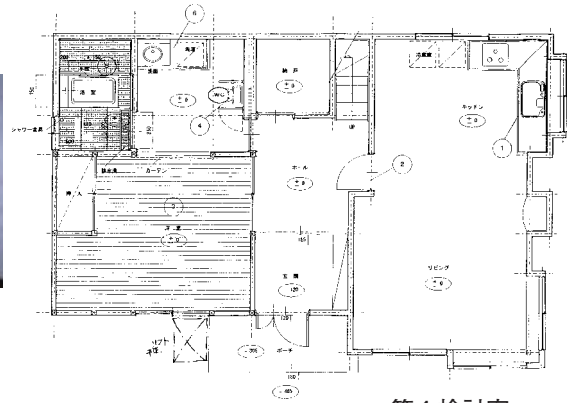
住宅改修支援の流れ（スケジュール）

年月日	本人・家族の状況		住宅改修チームの支援内容と動き		
	状況	内容・要望	住宅改修支援チームの動き		内容
平成12年 8月10日	<ul style="list-style-type: none"> ○平成11年8月発症発症から1年が経ち、これまで車椅子を利用していたが、これまでに自宅復帰に向けた外泊を繰り返してきたが、今のままではトイレ、入浴、家事を行えるような環境ではなく、一日も早く家族と共に自宅で暮らしたいと願っている。 ○改修工事に関する情報を集めてはいたが、障害について理解し、適切な改修をしてもらえるか不安で決断ができずにいた。 	<ul style="list-style-type: none"> ○築10年の和風住宅で寝室は玄関脇の和室8帖。 ○両下肢の全廃で移動方法や移乗動作については補助器具や介助を必要とするが、本人に適した補助器具を選定し、その機能を最大限生かしたい。 	事前現地訪問調査	行政（県） 行政（市） コンサル	<ul style="list-style-type: none"> ・身体、ADL、介護状況等確認 ・本人・家族の要望確認 ・住宅、移動状況の確認
28日	<ul style="list-style-type: none"> ○本人は外出許可で話し合いに参加した。 ○病院では、入浴が2回/週で部分介助、ベット上で排尿、大便はトイレを利用する。 ○リハビリは手、足の訓練を週4回、1回に1～2時間行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○現在の水廻り（浴室、脱衣・洗面WC）とローカ、納戸を一部利用で一つにしてスペースを有効利用したい。 	改修チーム現地訪問調査	MSW PT OT ケアマネ 建築士 施工業者 コンサル	<ul style="list-style-type: none"> ・改修プランの打ち合わせ ・身体状況を確認したうえで計画中のプランをもとに、使いやすい位置やスペースを考えながら話し合う。 ・福祉用具の導入について ・今後の進め方 ・介護保険におけるサービス
9月11日	<ul style="list-style-type: none"> ○改修プランのたたき台をもとに話し合いを行う 	<ul style="list-style-type: none"> ○これまで夫婦で話し合い、考えてきたこともある。 ○たたき台プランについての疑問 <ol style="list-style-type: none"> ①トイレの位置がすっきりしない。夫と息子にとっては、トイレの位置と向きがプライバシーの面からするとイマイチかな？ ②既存キッチンセットの扉をはずした場合、車いすで使えるようにできないか？もっと楽に使えるキッチンがあるなら、また予算的にどれくらいか？同じく洗面台も扉を撤去するだけで本当いいのだろうか？ 	改修プラン検討会	MSW 建築士 施工業者 コンサル	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの話し合いをもとに作成した改修プランについて検討。 ・病院内での本人のリハビリ状況等についての説明の後、それぞれにプランについての意見交換。 ・施工業者からは、たたき台プランで見積りを出し、予算内に納めることが難しいこと、また福祉用具の導入により、使用できる助成制度等との関係を調べたうえで、実際の工事金額を計算する。
10月24日	<ul style="list-style-type: none"> ○話し合いの会場を病院で行い手すりの位置や高さ等については、本人に実際使用してもらうことで決定する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○最終プランについての意見 <ol style="list-style-type: none"> ①寝室から浴室に入る場所が広がる。 ②納戸をつぶしてトイレを設置し、浴室用3枚引き戸を取付けたことで、家族全員のプライバシーが確保できる。 ③浴槽の位置を寝室側の壁に寄せて設置し、洗い場を十分な広さが確保できた。とても使いやすい感じがする。 ④キッチンについてはまだ迷っているが、もう少し時間をかけて考えてもいいか？ ⑤屋外の段差解消リフトについては工事完成後でも取付けは可能。 	改修チーム最終案作成（図面）	MSW 建築士 施工業者 コンサル	<ul style="list-style-type: none"> ・最終プランについての説明と、意見交換。 ・最終プランで工事費を見積ると、当初予算をオーバーするが、現時点での予算は大丈夫か？確認をする。 ・予算は決して業ではないが、このプランであれば本人の自立も、家族の要望も全て含まれているので、若干の予算は努力する。 ・福祉用具に関しても、市の窓口に出した福祉用具が全て導入決定のようだ。
29日	<ul style="list-style-type: none"> ○着工 		○改修プランの内容の確認	施工業者	<ul style="list-style-type: none"> ・工事写真
11月21日	<ul style="list-style-type: none"> ○寝室、洗面・脱衣室、トイレはほぼ形はでき上がる。 ○浴室はタイルを仕上げる前に手すりの位置を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○着工前から悩んでいた流し台は造り付ステンレス製に決定。 	改修チーム工事進捗確認	MSW 建築士 施工業者 コンサル	<ul style="list-style-type: none"> ・外部ボーチのスロープ施工中、脇に階段を設置することで変更（冬期間の凍結を考慮して）
30日	<ul style="list-style-type: none"> ○完成 			施工業者	<ul style="list-style-type: none"> ・完成写真
12月1日	<ul style="list-style-type: none"> ○本人も立会い、実際に使用してみる。改修打ち合わせがスタートしたときに比べると、車椅子の操作もなれてきた様子。 		完成確認	MSW PT OT コンサル 建築士 施工業者	<ul style="list-style-type: none"> ・完成状況確認の上、本人及び家族の感想聞き取り

改修プラン



トイレ



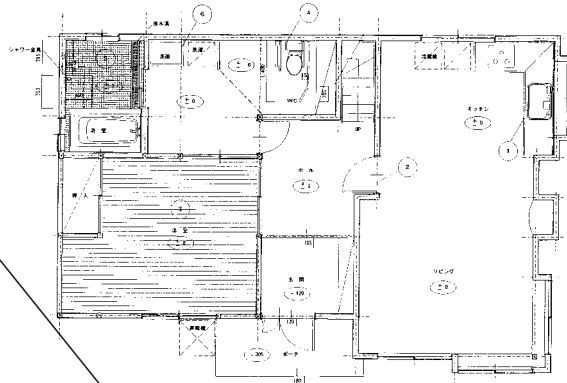
第1検討案



洗面、脱衣室 洗面台は車イス使用のため下部開放



便器、手すり取付



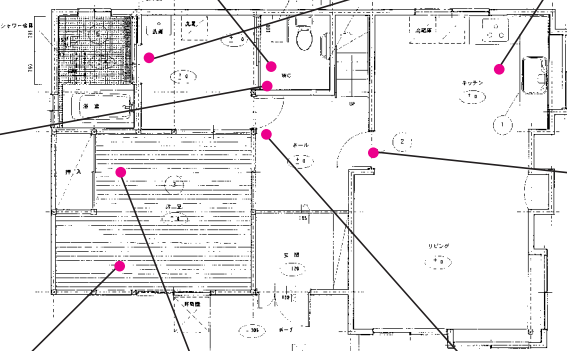
第2検討案



蛇口使用状況



便器移乗状況



最終案



造付ステンレスキッチン 車イス使用のためシンク下部開放



ホール～リビング 出入口扉、敷居取替、扉下端かさ上げ



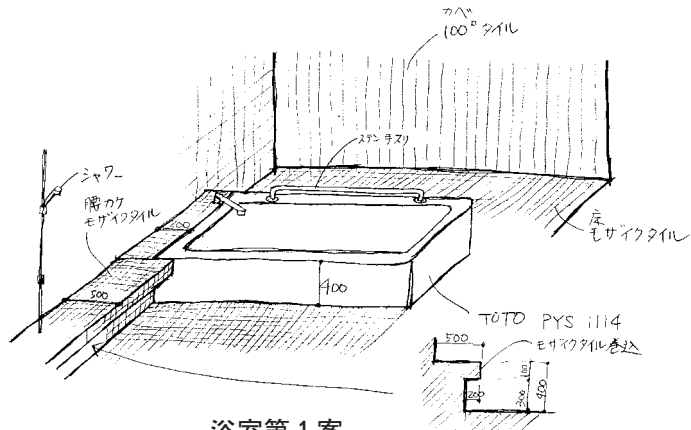
寝室全景



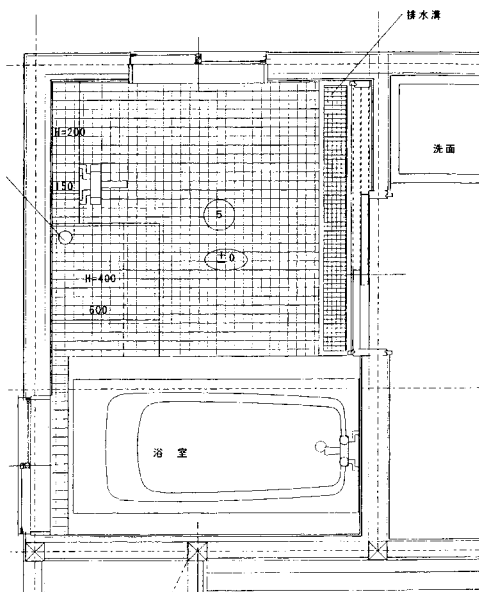
寝室、床ノ間 地板撤去 床、フローア敷



寝室～洗面 脱衣所～ホール 敷居取替



浴室第1案



浴室最終案

家族としては洗い場が欲しい。本人は介助なしで入浴できるようにリハビリしている。
このことから洗い場を広くとり、移乗台を正面に位置させることで自立した入浴が可能。



改修後
浴室 移乗台



改修後
浴室 移乗台 シャワー



改修後
浴室 洗い場 3枚引戸

住宅改修費		福祉用具導入	
総工事費	2,756,308円	・入浴補助用具	バスボード
自己資金	1,132,508円		手すり
公的資金	1,000,000円 (事業協力金)	・歩行支援用具	滑り止めマット
介護保険	利用なし。		トイレ手すり (跳ね上げ式)
その他	200,000円 (居宅生活動作補助用具)		トイレ手すり (横型)
	213,000円 (生活環境改善)	・特殊寝台	玄関スロープ
	60,800円 (特殊浴槽)		段差解消リフト (将来予定)
	90,000円 (入浴補助用具)		電動特殊寝台
	60,000円 (歩行支援用具)		
その他 計	623,800円		

改修案の整理（福祉用具含む）

区分	課題(ニーズ)	目標	改修等内容	改修効果	課題
玄関	・車椅子での移動を可能にしたい。	・車椅子で外に出かける。	・玄関には木製スロープ、屋外ポーチは <u>コンクリート製スロープ</u> を設置。	・ <u>自分の意志で外に出られる。</u>	・ドアの開け閉めが若干難しい。将来は、寝室テラス外に段差解消リフトを設置。
寝室	・和室のため、車椅子で動くと畳が傷む。	・車椅子操作が自在にできるようにしたい。 ・就寝はベットを使用。	・既存畳撤去、 <u>フローリング床</u> 仕上げ。 ・敷居取替え。 ・洗面・脱衣室への出入口新設。ホールへの引き戸取替え。	・車椅子操作が自在にできるようになった。 ・好きなときにトイレや浴室を使用できる。	・収納部分で押入れが1ヶ所のみだが、今後収納に工夫をして、自分で取り出しやすい収納スペースを考える必要がある。
洗面・脱衣室	・車椅子で利用できるスペースではない。また、洗面台も車椅子では使いづらい。	・自分で歯磨き、洗面、化粧をしたい。	・既存スペースとローカを合わせて <u>スペースを確保</u> 。 ・車椅子で利用できるよう下部を開放にしたシャンプー可能な洗面台取り付け。	・介護負担を軽減させる。 ・ <u>日常生活の自立</u>	・洗濯機を普通に床置きにしているが、今後使用してみて高さ気になる場合は改修の必要あり。
トイレ	・床の段差もあり、車椅子で便器に近づけない。	・自分でトイレに行きたい。	・ <u>既存の収納スペースをトイレスペースに改修</u> 。 ・ <u>プライバシー確保</u> のために、浴室用3枚引き戸とする。	・ <u>排泄を1人でできる。</u>	・手すりの位置は体調の良し悪しにも影響をうける。使いこなしながら、変化を感じたら側移動させる。
キッチン	・流し台の中に車椅子は入らない。	・家族のために食事の支度がしたい。	・ <u>造り付ステンレス流し台設置</u> 。	・ <u>自由自在に流し台を使う。</u>	・現在は収納スペースが無いが、市販されている収納ラック等を使用して好きなように工夫する。
浴室	・入り口が狭く、床の段差もあり、介助者も一緒に入ることは難しい。	・できるだけ自分でゆっくりお風呂に入りたい。 ・時には家族で入ってもいい。	・既存トイレスペースを浴室スペースと一体とし、 <u>洗い場を広めに確保</u> 。また、浴槽に入るために移乗台をタイルで作る。	・車椅子で中まで入り、移乗台へ1人でも移れる。 ・ <u>浴槽へも1人で入れる。</u>	

本人・家族の感想

本人

○はじめは不安でしたが外泊のたびに出来上がっていく状況を見て、楽しみだった。早く家で暮らしたい。クリスマスから自宅で子供と主人と暮らせることがうれしい。

家族(夫)

○2ヶ月間でいろいろ考えることができたこと、話し合いの時間をこまめに取れたことが本当によかった。もしもあのままできていたら、今ごろ後悔していたかもしてない。

○納得の行くプランができて本当に良かった。細かい仕様まで話し合えたことが、安くできる方法を見出すことにも繋がったし、病院の中で自宅に帰ったときのことを想定して試させてもらったことも良かった。(建築士、施工業者立会いで。)一番ありがたかったことは、家が完成するまでの期間、病院で安心して療養、リハビリができたこと。いろいろな人の意見が聞けたことも良かった。改修スタッフとの協力を得られたことはラッキーだった。最終プランを決定する前日に、キッチンを変更したことは、不安はあったものの完成してみても本当に満足している。つくる前に写真を見せてもらっていたが、洗面台も途中で水道工事の方に相談ののってもらって、理想以上のものを取付けてもらったと思っている。手すりも、シミュレーションで、使い易い位置が決定したので、施工業者さんに直してもらえることを約束してもらって安心した。満足度120%です。

○キッチンはずっと悩んだが、造り付けのシンクにしたとしても金額的には約2~30万程度と聞き、妻の父親が協力してくれることになったので、既存のセットを床埋め込みとする工事を取りやめた。そうすることにより、逆に床を一部撤去し、補強して仕上げる施工費が軽減でき、キッチンも本人の一番使い易い高さで奥行きが可能になるという、一石二鳥でよかった。

○外のスロープも階段も使いやすそうで、本人に使ってみてもらった。まだ、腕力が弱いために、降りることは何とかできるが、上るためには勢いを付けて一気に上らなければならず、介助者の手が必要であった。ただし、本人は、退院後自分で練習して上れるように頑張ると意気込んでいたので、なんだか家での生活に意欲がわいているようであった。



玄関スロープ使用状況

家族へのアドバイス

- 退院後、日中一人になったときの状況は暮らして見なければならぬことだが、まずは機能を使いこなすこと。また、自宅に籠もりきりにならないよう、外へ出られるようリハビリと工夫を。外に出られたら、すぐ側が急な坂になっているので、車いすでの散歩には範囲が限定されるが、車の運転等の練習をも視野に入れて、町にどんどん出られるよう目標を持つと良い。ただし、生活の上でどうしても困ったことができたときなど、市の在宅介護支援センター等相談の窓口や、在宅ケアサービス等の情報を得て、賢く利用しながら、これまで通りの生活を送る事ができるよう支援体制をつくるのが今後の大きな課題となる。今回初回だけの参加となった在宅介護支援センターの担当と面識ができたので、今後の相談はスムーズにいくかも。

改修チームからのコメント

MSWから

本人の表情からも読みとることができました。今回も外泊前の不安な表情の面影は全く無く安心した表情になっていました。

家族も強い気持が此処までの行動力を支えてくれたと思います。その夢を実現しようと皆が頑張ったと思いました。又、素晴らしいメンバーが揃ったと思います。

本人も帰りの車の中で「気持はもう日曜日だ」と楽しそうに、しかも明るく話していました。

その本人が一番安心したのは主婦として家事が可能な環境になった事だとも話していました。勿論、他の場所の改造にも満足していました。満足度は150%との評価でした。

今回の改造では、私たち医療スタッフも多くのことを学ぶ事が出来ました。又、改造後に本人が実際に上手く活用出来る事を確認出来たことも大事な経験になりました。

施工業者から

造ることはどうにでもできるが、どのようにしたら使い良いのか適切なアドバイスをしてくれる人が必要であった。今回はそういう人が沢山いて良かった。

毎日のように旦那さんと話げできたことが良かったと思う。

建築士から

これまで7回図面の書き直しをしたが、詳細まで話し合いができたことが本当によかった。何より旦那さんが諦めなかった。

実際に使用してみて（トイレ）動きを見ることができたことが良かった。

今回の改修工事に参加できたことは本当に勉強になった。

OT.PTから

トイレの手すりは一度シミュレーションをして確認後取付け、今日もう一度使用してもらったが、立会いでやはり使いづらいことが分かった。便器設置位置が壁から若干離れてしまったため、手すりが遠すぎるようだ。壁に厚めの下地材を取付けて、横手すりを取付けることにする。

キッチンは車椅子の高さ及び、シンクの深さ共使いやすく、蛇口も楽に手がとどき、お料理を作ることがこれまでと同じようにできそう。シンク下部は全て開放になっているが、必要に応じて市販されているプラスチックのキャスター付収納ケースを利用する。一番使い易い収納位置をこれからぼちぼち整えたら、とても機能的なキッチンになりそう。